

| | | | | | | | |
|---------------------|------|-----|-------|-----|---|-----|--|
| 令和5年度(2023年度)年間授業計画 | | | | 目 標 | 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。 | 教科書 | 情報 I Step Forward! (東京書籍) |
| 講座名 | 情報 I | 科目名 | 情報 I | | | 副教材 | 情報最新トピック集2023 (日経BP) ニュースステップアップ情報 I (東京書籍) |
| 単位数 | 2単位 | 区 分 | 必履修 | | | | |
| 年 次 | 1年次 | 形 態 | クラス単位 | | | | |
| 担当者名 | 清水 | | | | | | |

| 授業内容 | 第 1 学期 | | 第 2 学期 | | 第 3 学期 |
|---------------------|---|--|---|--|---|
| | <第 1 定期考査> | <第 2 定期考査> | <第 3 定期考査> | <第 4 定期考査> | <第 5 定期考査> |
| | (1) 情報社会 (ア) 問題解決 (イ) 法・情報セキュリティ・情報モラル (ウ) 情報技術と情報社会 | (2) 情報デザイン (ア) コミュニケーションとメディア (イ) 情報のデジタル化 (ウ) 情報デザイン | (3) プログラミング (ア) コンピュータの構成と処理 (イ) アルゴリズムとプログラム | (ウ) モデル化とシミュレーション (4) ネットワークの活用 (ア) デジタル通信の仕組み | (イ) データの活用とデータベース (ウ) データの分析 (5) 問題解決 |
| 定期考査 までの 授業時数 | 10時間 | 16時間 | 18時間 | 12時間 | 12時間 |

| 評価 | 観点 | 方法 | 基準 | | | |
|----|---------------|---|---|--|---|---|
| | | | A | B | C | |
| 評価 | 知識・技能 | 効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めている。 | 定期考査・Webテスト ・ワークシート・提出物 ・授業の振り返り ・行動観察 | 効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深め、応用できる。 | 効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深め、活用できる。 | 効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解し技能の習得とともに、情報社会と人との関わりについて理解している。 |
| | 思考・判断・表現 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけている。 | 定期考査・Webテスト ・ワークシート・提出物 ・授業の振り返り ・行動観察 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉えるだけでなく、他教科の学びとの結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に応用して活用する力を身につけている。 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉えるだけでなく、他教科の学びとの結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけている。 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を活用する力を身につけている。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身につけている。 | 定期考査・Webテスト ・ワークシート・提出物 ・授業の振り返り ・行動観察 | コンピュータ等情報技術の特性を活かすことを志向し工夫したり、試行錯誤や評価・改善を重ねたりすることで情報と情報技術を適切に活用するとともに、これらを踏まえて情報社会に主体的に参画する態度を身につけている。 | コンピュータ等情報技術の特性に配慮しながら、試行錯誤や評価・改善を重ねることで情報と情報技術を適切に活用するとともに、これらを踏まえて情報社会に主体的に参画する態度を身につけている。 | 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身につけている。 |

| | |
|---------|---|
| 日常の学習方法 | <p>学習のポイント (授業中や家庭学習の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組み、授業中の課題や実習に積極的に取り組む。 ・知識を活かしてコンピュータや情報機器等を積極的に活用し、利用できる知識として身につける態度が求められる。 ・定期考査やWebテスト、課題や提出物の他、毎授業の「授業の振り返り」も評価の対象である。 ・基本的なスキル(タイピング・アプリケーション操作)の定着のため、家庭等授業外での継続的な利用が必要である。 |
|---------|---|

| | |
|-----------------|--|
| 大学受験や発展的な内容との関連 | <p>共通テスト科目になっているだけでなく、現在の情報社会において基礎となる知識・技能・考え方を身につけてください。この基礎が身につけば発展的な学習はどのように行えばいいかわかります。</p> |
|-----------------|--|